

2017年7月19日
丸紅株式会社

インドネシア PT Indonesia Power (Persero) 社より大型複合火力発電所建設案件を受注

丸紅株式会社（以下「丸紅」）は、General Electric 社（以下「GE」）及び PT Hutama Karya（Persero）社（以下「HK」）と共同で、インドネシア国有電力会社 PT PLN（Persero）社（以下「PLN」）の 100%子会社である PT Indonesia Power（Persero）社（以下「IP」）より、タンバロロック複合火力発電所 Block 3 案件（以下「本案件」）に関わる一括建設請負契約を 2017 年 7 月 14 日に受注しました。本案件は IP による過去最大規模の開発案件であり、出力は約 780MW、総受注額は約 410 億円となります。

本案件はインドネシア中部ジャワ州スマランに位置する既存発電所に新規複合火力発電所を建設するものです。設計、調達から土木・据付工事、試運転までを手掛けるフル・ターンキー契約で、2020 年中の完工を予定しています。ガスタービン・蒸気タービン、発電機等の主要機器は GE が納入し、土木工事を HK が担当、排熱回収ボイラーを含む関連補機の調達や据付工事等を丸紅が取りまとめます。

本案件は丸紅が GE と初めて共同で取り組む大型複合火力発電所建設(EPC*)案件であり、今後も良好なパートナーシップを発展させていきます。

丸紅はこれまでに全世界で約 110,000MW の発電所建設に携わり、インドネシアにおいては本案件を含め合計約 7,600MW の発電所建設実績に加え、IPP(**)事業においても約 1,500MW の持分発電容量を有しています。堅調な経済成長下で逼迫する電力需要に対応すべく発電設備増強が数多く計画されている同国では、IP 含む PLN 子会社が発電所を開発する案件が増加していく見込みであり、本案件を通じて IP との良好な関係を維持・発展し、今後も建設・運営の両面から発電所設備増強への貢献を目指します。

(*) EPC : Engineering Procurement Construction の略。

(**) IPP : Independent Power Producer の略。独立系発電事業者。

以 上

<案件概要>

案件名	Tambak Lorok Combined Cycle Power Plant Block 3 Project
客先/資金	IP/契約金額の 30% : 自己資金、契約金額の 70% : ECA ファイナンス (スイス ECA (SERV) を検討中)
プラント構成	ガス焼き複合火力発電所一式 約 780MW (ガスタービン、排熱回収ボイラー、蒸気タービン、発電機) ×1 系列
受注金額	約 410 億円
建設予定地	インドネシア中部ジャワ州スマラン

Marubeni

< 関係会社概要 >

会社名	PT Indonesia Power (Persero) 社
本店所在地	Jl. Jend. Gatot Subroto Kav.18 Jakarta 12950 Indonesia
設立年	1995 年
代表者	Ms. Sripeni Inten Cahyani
事業内容	PLN が開発した発電所の保守運営・売電、発電所開発(***)
所有発電容量	約 8,902MW (インドネシア国の総発電設備容量の約 18.5%)
売上高 (2015 年度)	320,201 億インドネシアルピア (約 2,562 億円)

(***)発電所の保守運営・売電が主な事業だったが、今後は IP 自身での発電所開発が増加する見込み。

会社名	General Electric 社
本店所在地	41 Farnworth Street, Boston, Massachusetts, 02210, United States
設立年	1892 年
代表者	Mr. Jeff Immelt
事業内容	製造業

会社名	PT Hutama Karya (Persero) 社
本店所在地	Jl. Letjen MT. Haryono Kav.8, RT.012 RW.011, Cipinang Cempedak, Jantinegara, Jakarta Timur, DKI Jakarta
設立年	1961 年
代表者	Mr. I Gusti Ngurah Putra
事業内容	土木建設、他

< 建設予定地 >

